

## 安全データシート ワイドコート

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称

製品名/別名/製品コード： ワイドコート

会社情報

会社名： 日本化薬株式会社

住所： 東京都千代田区丸の内2丁目1-1

担当部門： アグロ事業部

電話番号： 03-6731-5325

FAX番号： 050-3730-8045

緊急連絡先： 平日・昼間 アグロ事業部（電話番号03-6731-5325）

休日・夜間 鹿島工場（電話番号0479-46-2753）

メールアドレス： agro.info@nipponkayaku.co.jp

用途及び使用上の制限： 農薬（展着剤）

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分4
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入）	分類できない
皮膚腐食性/皮膚刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1B
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性） 区分2

水生環境有害性 長期（慢性） 区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：

危険

## 安全データシート ワイドコート

危険性有害性情報： 飲み込むと有害  
 皮膚刺激  
 重篤な眼の障害  
 アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ  
 水生生物に毒性  
 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き  
 [安全対策]

取扱い後はよく手を洗うこと。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 粉じん/煙/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 環境への放出を避けること。

[応急措置]

飲み込んだ場合 直ちに医師に連絡すること。  
 口をすすぐこと。  
 皮膚に付着した場合 多量の水と石鹸で洗うこと。  
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合 医師の診察/手当てを受けること。  
 眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 直ちに医師に連絡すること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 漏出物を回収すること。

[廃棄]

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

他の危険有害性

—

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物  
 化学名又は一般名 (1)スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム  
 (2)ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル  
 (3) アルファ-アルキル-オメガ-ヒドロキシポリ (オキシエチレン)

成分及び含有量

成分	含有量 (%)	CAS番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
(1)スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム	22.5	577-11-7	2-1623	2-(4)-384
(2)ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル (アルキル炭素数が12~15のものに限る)	48.6	68131-40-8	7-97	—
(3)アルファ-アルキル-オメガ-ヒドロキシポリ	1.4			—

## 安全データシート ワイドコート

(オキシエチレン) (アルキル炭素数が9~11  
のもの及びその混合物であって、数平均分子量  
が1,000未満のものに限る。)

その他 凍結防止剤等

27.5

営業秘密につき非公開

危険有害成分： 特に知られていない

### 4. 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

直ちに医師の処置を受ける。

多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをし、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに石鹸と水を使いよく洗い流し、皮膚刺激が生じた場合、速やかに医師の診断を受ける。

汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。

眼に入った場合

清浄な水で15分間以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は可能な限り取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合

直ちに水で口をすすぎ、気分が悪い時は医師の診断を受ける。

急性症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と保護眼鏡などの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤(リン酸塩等を使用するもの)、粉末消火剤(炭酸水素塩等を使用するもの)、二酸化炭素、泡消化剤、乾燥砂、膨張ひる石、膨張真珠岩、霧状水

使ってはならない消火剤

冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

消火作業は出来る限り風上からおこなう。

周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺は、関係者以外の立入を禁止する。

消火のための放水等により、環境に影響をおよぼさないよう、適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

消火作業は風上からおこない、有毒なガスの吸入を避ける。

消火に当たる者は、適切な呼吸保護具/耐熱性の防護服等を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び  
緊急措置

適切な保護具を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないように注意する。風上から作業する

## 安全データシート ワイドコート

環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収・中和	土砂、その他の吸収剤で漏洩物を吸収し、密閉できる廃棄物用容器に回収する。
封じ込め及び浄化の方法	漏出した場所の周囲にロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 風上から作業し、風下の人を避難させる。 火花を発生しない、安全な器具を使用する。
二次災害防止策	—
<b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>	
取扱い上の注意事項	
火災、爆発防止などの技術的対策	火気を避け、過熱したり、摩擦、衝撃を与えない。 静電気対策のために、装置、機器などの接地を確実に行う。 工具は火花防止のものを用いる。
取扱者のばく露防止策	取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。 保護眼鏡、保護手袋などの適切な保護具を着用する。 作業は換気の良い場所で行うこと。 ヒューム、ミスト等を発生させない。 取扱い後は、手、顔等をよく洗うこと。
エアロゾル・粉じんの発生防止策	情報なし
保管上の注意事項	
混触させてはいけない化学物質	アルカリ性物質 酸性物質
保管条件(適切及び避けるべき条件)	通気の良い場所で容器を密閉して保管する。 冷暗所に保管する。 食品や試料と同じところに保管しない。 火気、熱源より遠ざける。 アルカリ性物質、酸性物質とは同一場所に保管しない。
容器包装材料	製品使用容器に準ずる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	(1) スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム 設定されていない
	(2) ポリオキシエチレンアルキルエーテル 設定されていない
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的指標)	
ACGIH	(1) (2) ともに設定されていない。
日本産業衛生学会(2020年)	(1) (2) ともに設定されていない。
設備対策	局所排気装置 洗眼器 シャワー

## 安全データシート ワイドコート

### 保護具

呼吸用保護具	送気マスク、自給式呼吸器
手の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡(普通めがね型、側板付き普通めがね型、ゴーグル型)
	保護面(防災面)
皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護長靴、保護前掛け、長袖作業着

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	淡黄色澄明
臭い	わずかな特異臭
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	134°C
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	5～8 (20%水溶液/25°C)
動粘性率(動粘度)	情報なし
溶解度	水、アセトン、メタノールに易溶
n-オクタノール／水分配係数(Log値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度(比重)	1.05 (20°C)
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他のデータ(任意)	—

### 10. 安定性及び反応性

反応性	アルカリ性又は酸性物質により加水分解を受ける。
化学的安定性	通常の手扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	加水分解反応
避けるべき条件	アルカリ又は酸性物質との混触
混触危険物質	アルカリ又は酸性物質
危険有害な分解生成物	情報なし

### 11. 有害性情報

急性毒性 情報が無いことも記載

(経口)	ラット LD <sub>50</sub> 雌, 300 < LD <sub>50</sub> ≤ 2000 mg/kg	(区分4)
(経皮)	ラット LD <sub>50</sub> 雌雄, > 2000 mg/kg	(区分に該当しない)
(吸入)	情報なし	(分類できない)

## 安全データシート ワイドコート

皮膚腐食性/刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、3例中全例で区分2の分類基準を満たす刺激性変化(紅斑)が認められたため、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験において、区分1の分類基準を満たす不可逆的影響が認められたため、区分1とした。
呼吸器感受性	情報なし (分類できない)
皮膚感受性	モルモットを用いた皮膚感受性試験(Buehler法)において、本製品の局所投与により、感作率80%で皮膚反応が認められたため、区分1Bとした。
生殖細胞変異原性	(1) スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム 復帰変異 陰性 (2) ポリオキシエチレンアルキルエーテル 復帰変異 陰性 製品中の主成分が区分に該当しないことから、区分に該当しないとした。
発がん性	(1) スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム 復帰変異 陰性 (2) ポリオキシエチレンアルキルエーテル 復帰変異 陰性 製品中の主成分が区分に該当しないことから、区分に該当しないとした。
生殖毒性	(1) スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム 復帰変異 陰性 (2) ポリオキシエチレンアルキルエーテル 復帰変異 陰性 製品中の主成分が区分に該当しないことから、区分に該当しないとした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	本製品のラットに対する単回投与試験において、非致死用量を投与した動物の特定臓器における毒性影響が認められなかったため、区分に該当しないとした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	本製品の主要成分について、特定臓器に対して重大な機能障害を引き起こす変化が認められたという情報がなかったため、区分に該当しないとした。
誤えん有害性	情報なし (分類できない)

### 12. 環境影響情報

生態毒性	コイ	急性LC <sub>50</sub>	7.00 mg/L (96時間)
	オオミジンコ	急性遊泳阻害EC <sub>50</sub>	8.98 mg/L (48時間)
	緑藻	生長阻害E <sub>r</sub> C <sub>50</sub>	16.9 mg/L (72時間)
水生環境有害性 短期(急性)	上記結果から区分2とした。		
水生環境有害性 長期(慢性)	上記結果から区分2とした。		
陸上生物急性有害性	情報なし		
残留性・分解性	情報なし		
生体蓄積性	情報なし		

## 安全データシート ワイドコート

土壌中の移動性 情報なし  
 オゾン層への有害性 情報なし

### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。  
 下水道、いかなる水域、土地にも投棄してはならない。  
 汚染容器及び包装： 容器・包装等を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。  
 使用した器具を洗浄する際、環境や水の汚染を避けること。  
 空容器を再利用してはならない。

### 1 4. 輸送上の注意

#### 国際規制

陸上輸送	ADR/RID	クラス9	PGIII
海上輸送	IMDGコード	クラス9	PGIII
航空輸送	ICAO/IATA	クラス9	PGIII
国連番号	3082		
国連品名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.		
国連危険有害性クラス	クラス9（環境有害性物質）		
副次危険性	—		
容器等級	III		
海洋汚染物質	—		
MARPOL 7 3 / 7 8 付属書 2 及び	—		
IBCコードによるばら積み	—		
輸送される液体物質	—		

#### 国内規制

海上規制情報	船舶安全法 危険物船舶運送及び貯蔵規則 第3条 有害性物質
航空規制情報	航空法 航空法施行規則 第194条 その他の有害物件
陸上規制情報	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
緊急時応急措置指針番号（任意）	171
輸送上の特別安全対策及び条件	容器が破損しないように、混載するときは注意すること。 取り扱い及び保管上の注意事項に留意する。

### 1 5. 適用法令

農薬取締法：	登録番号 22709
消防法：	危険物第4類第3石油類 水溶性
毒物及び劇物取締法：	非該当
労働安全衛生法：	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR)：	2009年10月1日に施行された改正法では以下のものが指定化学物質に



## 安全データシート ワイドコート

該当する。

名称	種別	政令 番号	含量
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル (アルキル炭素数が12~15のものに限る)	第一種	1-407	50%
2023年4月1日に施行される改正法での指定化学物質は以下の通り			
名称	種別	管理 番号	含量
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル (アルキル炭素数が12~15のものに限る)	第一種	1-407	48.6%
アルファ-アルキル-オメガ-ヒドロキシ ポリ(オキシエチレン) (アルキル炭素数 が9~11のもの及びその混合物であって、 数平均分子量が1,000未満のものに限る。)	第一種	1-580	1.4%

### 16. その他の情報

引用文献：

日本工業規格 GHSに基づく化学品の分類方法(JIS Z 7252:2019)  
 日本工業規格 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法  
 (JIS Z 7253: 2019)  
 国際連合 化学品の分類および示に関する世界調和システム  
 (GHS) (改訂6版)

記載内容の問い合わせ先：

アグロ事業部 03-6731-5325

改訂の記録：

作成 2010年05月11日  
 改訂 2011年02月02日  
 改訂 2014年08月18日

改訂 2022年03月17日 JIS Z 7252 7253 2019年版対応  
 2021年化管法政令改正対応

最終改訂 2022年06月16日 成分及び組成情報、適用法令の修正

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。また、記載事項は通常の取り扱いを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、お取り扱い願います。